

ロックドリル部門：人気絵本「もぐらけんせつ」シリーズの新刊に ドリルジャンボなどの製品が再登場

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）および当社グループの中核事業会社でロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：北川 隆行）は、株式会社童心社（東京都文京区、社長：後藤 修平）が 10 月 28 日に発売する『もぐらけんせつ はたらく じゅうき ずかん』（作：長崎真悟）の制作に協力し、監修しました。

同絵本は、人気絵本「もぐらけんせつ」シリーズに登場する様々な重機を、イラストと実際の写真を用いて機械の特徴や役割を紹介する図鑑で、トンネル施工で使用されるドリルジャンボやコンクリート吹付機が登場します。

制作にあたり、古河ロックドリルは、2025 年 10 月 29 日に発売した「もぐらけんせつ」シリーズの第 3 作『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』の制作に協力・監修しており、ドリルジャンボや油圧ブレーカ、コンクリート吹付機のイラストが絵本に初登場しました。今回も出版社の童心社より要請を受け、ドリルジャンボの図解の監修と、ドリルジャンボおよびコンクリート吹付機の写真を提供しました。

当社および古河ロックドリルは、同シリーズの絵本を通じて、山岳トンネルがどのように掘られているか、ドリルジャンボがどのような役割を果たす機械かを、読者である子どもたちや親御さんに知っていただくとともに、トンネル機械の製造工場やトンネル工事現場での仕事に興味を持ってもらうことを期待しています。



『もぐらけんせつ はたらく じゅうき ずかん』

『もぐらけんせつ はたらく じゅうき ずかん』の概要

内 容：人気絵本「もぐらけんせつ」シリーズ初の重機図鑑が刊行されます。ショベルカーからドリルジャンボまで、実際の重機写真とキャラクターたちの解説で、はたらく重機のひみつを大けんきゅう！ 操縦席の紹介やクイズも満載で、乗り物好きの子どもにぴったりの一冊です。

発 行：株式会社童心社

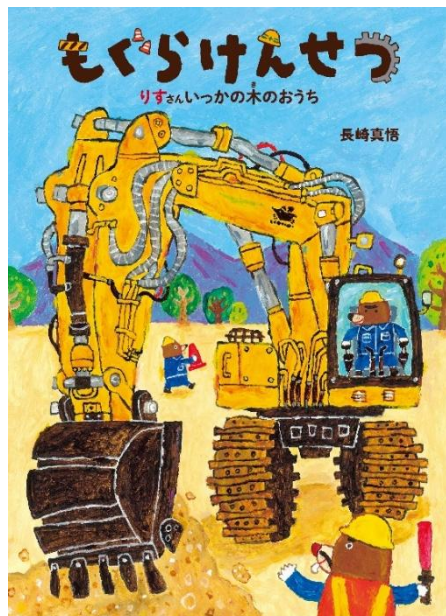
発売日：2026 年 10 月 28 日

定 価：1,760 円（本体 1,600 円＋税 10%）

U R L：<https://www.doshinsha.co.jp/search/info.php?isbn=9784494023608>

童心社の「もぐらけんせつ」シリーズについて

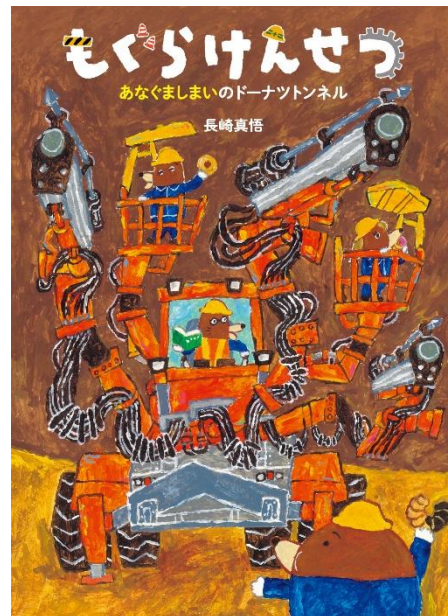
町いちばんの工事の会社「もぐらけんせつ」の個性ゆたかな職人たちが、重機を使っていろいろなものを作り、町のみんなのために「あんぜんだいいち」で働くおはなし絵本シリーズ。第1作目『りすさんいっかの木のおうち』では傾いてしまったりすさん一家のおうちを修理し、第2作目『ぼんぼこでらのおまつり』ではこわれてしまったお寺の橋を工事。第3作目となる『あなぐましまいのドーナツトンネル』では、ドリルジャンボが初登場。山の向こうでドーナツ屋を開くあなぐまのしまい、そしてドーナツを食べたいという町のみんなのために、もぐらけんせつが山岳トンネルを建設します。



『りすさんいっかの木のおうち』



『ぼんぼこでらのおまつり』



『あなぐましまいのドーナツトンネル』

■長崎真悟先生プロフィール

イラストレーター・デザイナー。恐竜や重機のイラストで幅広く活躍。群馬県生まれ、横浜市在住。東京デザイナー学院グラフィックデザイン科卒。おもな作品に『ぼくのきょうりゅうかんさつ日記』（徳間書店）などがある。『もぐらけんせつ りすさんいっかの木のおうち』で第15回「リブロ絵本大賞」受賞。



古河ロックドリルのトンネル機械について

■トンネルドリルジャンボ（国内シェア約80%）

トンネルドリルジャンボは、山岳トンネル工事現場の最先端である切羽で発破用爆薬を装填する孔を掘る機械です。国内の道路や鉄道の山岳トンネルのほとんどで使用された実績があり、現在もりニア中央新幹線や北海道整備新幹線等の長大トンネル工事で活躍しています。近年、せん孔作業を自動化した機械も開発し、作業員の負担軽減、安全で正確かつ効率的な工事の実現に貢献しています。



〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・製品に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課
古河ロックドリル株式会社 営業企画部

TEL : 03-6636-9501
TEL : 03-6636-9522

■油圧ブレーカ（国内シェア約 40%）

碎石場や土木・建築現場等のインフラ整備に貢献する油圧ブレーカは、油圧ショベルのアタッチメント製品で、岩盤の掘削、岩石の小割、コンクリートの破碎などに使用されています。様々なニーズに対応するため基礎解体や岩盤掘削用の超大型ブレーカまでラインナップし、更に環境に配慮した超低騒音ブレーカも取り揃え、高品質かつ高打撃力の油圧ブレーカを世界各地に供給しています。



■コンクリート吹付機

コンクリート吹付機は、トンネル工事現場の岩盤や構造物を補強し、崩落を防ぐために、コンクリートを壁や天井に吹き付けて固める機械です。粉じんや跳ね返りを減らす構造で、急結剤により固めるので、作業性・安全性が高く、更に遠隔操作や環境に配慮したタイプをラインナップし、トンネル内だけでなく法面（斜面）の補強などでも幅広く活躍しています。



■参考動画

- ・「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編 | 古河機械金属 PV」
<https://www.youtube.com/watch?v=1tDy0vfI2So>

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 4 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、アーステクニカ部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：明治 8 年（1875 年）8 月

設立：大正 7 年（1918 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,883 人 〈単独〉207 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100% 子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：北川 隆行

事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和 36）年 6 月

資本金：4 億円

従業員数：535 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。